

Artis

QUALITY BATH LIFE



ARX03629

“アルティス”は「上質=クオリティ」というキーワードのもとに
あなたのバスライフをちょっと贅沢に演出いたします。
アルティスショールームで本物の“上質”を体感してみませんか。

発行/株式会社リビング・デザインセンター TEL.03-5392-6500 東京都新宿区西新宿3-7-1新信パークタワー 2002年9月1日発行 発売/国土社 注文センター TEL.03-5392-9604

アルティスショールーム/新信パークタワー-OZONE 6F Open.10:30~18:30 Close.毎水曜日(祝日の場合はOpen)
株式会社アベルコ 東急住設支店 アルキニス棟/東京都足立区難波4-10-4 3F Tel.02-5837-1810 Fax.03-5691-0200
株式会社アベルコ 大阪支店 アルティス棟/大阪府大阪市西淀川区千舟2-15-18 Tel.06-6471-5611 Fax.06-6471-5860

定価700円(本体667円) 雑誌 19307-09

T1119307090702
Printed in Japan



RUE DE L'AMIRAL- MOUCHEZ



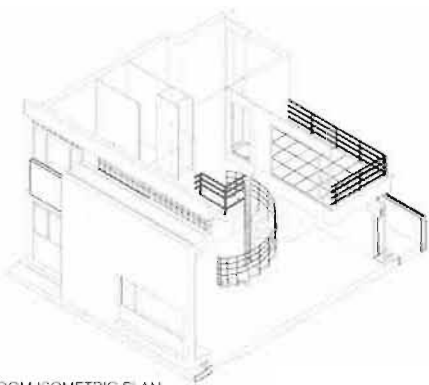
中庭から見て正面に並ぶの建物。西は袖状に伸びるパビリオン。中をつぶやく長い中庭について「イギリスのミュージックのような、プライベートな小径をつくり上げた」という建築家のカガンは、コルビュジェ時代の顧問メンバーでもあり、この建物もしばしばコルビュジェ・スタイルと評されている。

Michel W. Kagan

ミシェル W. カガン ● 1953年パリ生まれ。79年エコール・デ・ボザール卒業。コロンビア大学、トロント大学、モンドリアール大学、ジュネーヴ大学の講師を務め、98年よりパリ・ベルヴィル建築大学教授。代表作／パリ技術行政都市（1991）、パリ芸術家の都市（1992）、レンヌ集合住宅（2001）

MICHEL W. KAGAN

住所：62-68, rue de l'Amiral-Mouchez 75014 Paris
 設計：ミシェル・W. カガン
 竣工：1999年
 戸数：70戸
 カテゴリー：PLI（賃貸）
 家賃の例：3DK (69 m) 559 euros (約6,6万円) 管理費別



ROOM ISOMETRIC PLAN

中庭のハビリアンにある3LDKメゾネット。中庭から階段を数段昇って玄関に着く。まるで一軒家のような。



道側の建物にある3LDKのメゾネット。「このアパートのいちばんの魅力は、吹き抜けになったリビング。2階分の高さの窓からふんだんに陽が差し込む」と部屋のご主人。

パリ市内の公団については、建設に当たる公社が五つ、その中でもR・V・Pは率先してイノヴェイティブな建築に挑んでいる。八〇年代にはレンゾ・ピアノ（パリ二〇区）、九〇年代にはマツシミアノ・フクサス（パリ一区）の集合住宅を建てるなど、以前から有名な建築家の起用にも積極的だ。

プロジェクトは、R・V・Pに限らずどの公社の場合もコンペで選んでおり、たいがい四、五組の建築家の間で競われる。もちろん、費用をはじめ種々の厳しい規定があり、その中で新しいプランを提案しなくてはならない建築家たちの苦勞は十分に想像できる。

建築面積は敷地の五五％に限られる。費用は、スイス通りの公団住宅を例にとると、P・L・Eというカテゴリに入り、住居面積一㎡当たりの公費予算が一八三〇ユーロ（約二万六〇〇〇円）。ヘルツォーク&ド・ムーロンは、この規定をやすやすとカバーして一㎡当たり約一五〇〇ユーロ（約一七万六〇〇円）でつくったというから、お見事としか言いようがない。

さて、今度は住む側の話。これらの素敵な建築の公団住宅に住むには、どうしたらいいのだろうか。手続きは日本とほぼ同じ。必要書類（身分証明書、健康保険証、収入証明、現住居の家賃支払い証明など）を持って区役所へ。

収入制限は当然ある。例をいくつか挙げてみると、P・L・Aという比較的家賃の低いカテゴリでは、夫婦共働きに子供ひとり、世帯の年間収入が二九

一七四ユーロ（約三四〇万円）まで。ここで取り上げたフランク・アムテュー以外の三つの公団住宅が属するもつとも高級なカテゴリP・L・Eでは、同じく夫婦共働きに子供ひとり、世帯の年間収入は五万〇六〇九ユーロ（約六〇〇万円）までである。言うまでもなく日本とは物価も平均収入も違うので、日本円価格はご参考までに。

公団の住戸数は、パリ市内で約二〇万戸。申請時にカテゴリと区を希望できるが、物件を指定することはできない。以上がパリ市における賃貸公団の大まかな申請資格基準だ。

**見かけの高級感ではなく
長く住み続けられる快適さを**

ここに紹介する物件のうち、フランク・アムテュー設計のものは分譲公団、他の三つは賃貸公団でもっとも高級なP・L・Eだが、どこもキッチンやバスルームの設備は至ってシンプル、デラックスに見える演出は何もない。が、写真に現れているように、部屋に差し込む光に関してはどの物件にも芸術的な計算がほどこされている。

装飾は何年か経ては古びていくが、これらの集合住宅はもっと長く住まわれるために建てられたのだ。コルビュジエのユニテでは、建設後半世紀過ぎた今でも変わらないマルセイユの豊潤な光が部屋に入る。そしてユニテでの生活を愛して出て行かない人たちがいる。新しい公団も、長い間ひとに快適な暮らしを提供していくに違いない。▲